

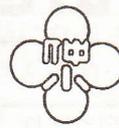
平成 29 年度

NO. 2

4 月 28 日 発行

5 月 号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

思いやりの心

校長 矢島 直行

新緑の美しい季節となりました。早いもので、新年度がスタートしてから1か月がたちました。緊張気味だった1年生も学校生活に慣れ始め、友達と仲よく遊ぶ姿を見かけます。上級生も新たな目標に向かって取り組んでいることが、授業中の様子から分かります。

先日の保護者会には、大勢の方々にご参加いただきありがとうございました。本年度も家庭と地域の皆様と学校が連携しながら教育活動に取り組んでまいります。

先日、2年生は城北中央公園、3年生は光が丘公園に遠足に行きました。出発する前、子供たちに、「楽しい遠足にしましょう。そのためには何が大切ですか」と質問したら、「やくそくを守る」「広がって歩かない」「電車の中でのマナー」「友達と一緒に弁当を食べる」「仲よく遊ぶ」などの声があがりました。どれも正解です。楽しむためには守らなければならないことがあります。子供たちはどれもしっかり守り、みんなが楽しいと思える遠足となりました。「校長先生も一緒に遊ぼう」と声をかけてくれる子供たちもいました。思いやりのある言葉に子供たちだけではなく、私たち教員も楽しい遠足となりました。

また、学校では2年生による1年生への学校探検がありました。2年生がお兄さん・お姉さんとして優しく校内を案内する姿を見ることができました。2年生はこの日のために事前に準備をしました。案内された1年生も話をしっかり聞き、早く学校のことを知ろうとする姿が見られました。

学校の外のことですが、4月13日から15日にかけて、私は岩井移動教室の实地踏査に行きました。实地踏査とは、本年度移動教室に行く練馬区の小学校の先生方と安全確認をするとともに、自分たちの移動教室でのコースを検討するための下見です。ほとんどが初対面で、行きのバスの中は少し緊張していましたが、帰りのバスの中は和んだ楽しい雰囲気となりました。これは3日間生活をともに一緒に過ごしたからですが、ただ一緒に過ごただけではありません。朝、宿舎の廊下ですれ違ったとき、「おはようございます」と明るく声をかけられたり、会議室で机やいすを準備しているのを見かけたら、すすんで手伝ってくれたりとしたことで互いの距離が近くなり、話しやすくなったのです。

仲町小学校では、東側昇降口を2年生から5年生、西側昇降口を1年生と6年生が利用しています。登校した児童は、8時5分のチャイムが鳴ると校舎に入ります。西側昇降口の下駄箱での様子を見てみますと、混み合っている中、先に1年生がくつから上履きに履き替えるのを待ち、時には優しく声をかけ手伝う6年生の姿を見ることができます。また、1年生の教室まで連れて行く姿も見られます。1年生の教室では、お世話係の6年生が優しく接することができます。学校の中の一場面ですが、相手を思いやる心が仲よく楽しく過ごすことにつながっています。

このようにみんなが互いを思いやり、温かい雰囲気のある、楽しい仲町小学校にしていきたいです。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。